

# News

2004年盛夏号

特定非営利活動法人

都市生活コミュニティセンター

〒663-8231 西宮市津門西口町7-3

TEL 0798-36-6679 FAX 0798-36-5114

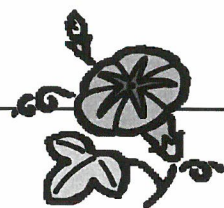
## 事 件

元理事 ● 川渕克枝（生活協同組合都市生活）

新聞を読んで、心が痛む事件が後を絶ちません。それも子供が絡んだ深刻な事件が多いのはなぜでしょうか？“酒鬼薔薇”事件に、池田小事件、去年の長崎幼児殺害事件もそうですし、今年もまた佐世保で悲しい事件がおきてしまいました。私には夏休みを前にして、長い休みをどう過ごそうかと思ひ悩むような小さい子供がいなくなりましたが、子供を持つ親として、どうしてこんな時代になってしまったのかと考え込んでしまいます。

新聞を読んで思うことは、加害者は少年Aとして出て被害者は実名で報道されることの矛盾を思わずに入られません。加害者は世の中に出たときのために、いくつもの資格を得て名前を変えて、生きることが許されていま

す。一方で被害者は実名報道にその日から耐えなければなりません。兄弟が学校に行けず立ち直れないでいたとしても誰も救いの手を差し伸べてくれるものではないとしたら、こんなにも矛盾したことがあるのでしょうか？子供が亡くなったことを受け入れられない父親の手記はたくさんのことを考えさせられました。子供たちにあなたたちはこんなにも愛されていて、何かあると悲しんでくれる人が身近にいるということを伝えるにはどうしたらいいのでしょうか？子供を抱きしめるということができないお母さんがいるそうです。何かできることが私たちにないのか一緒に考えてみませんか？



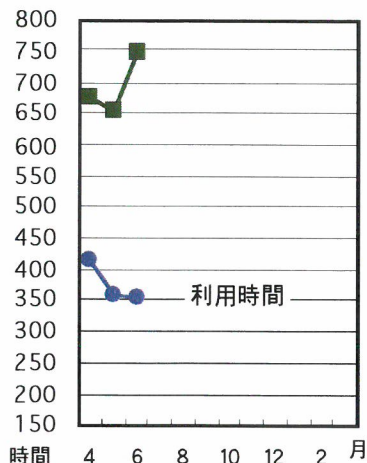
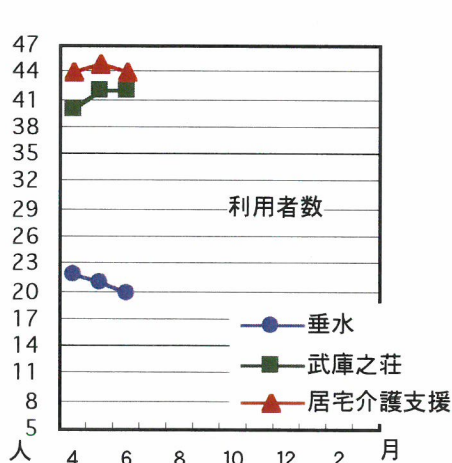
## 2004年度☆介護保険事業報告

★あ・し・す・と（垂水）

★あしすと武庫之荘（尼崎）

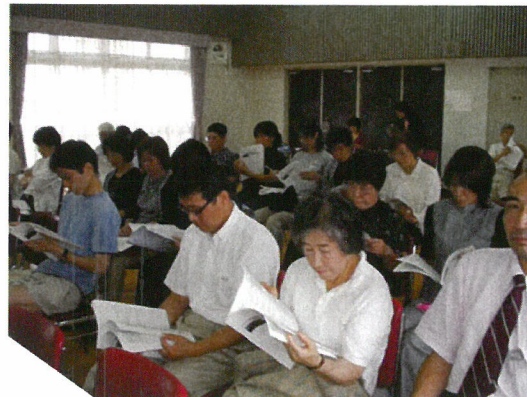
●現在、2つの事業所を拠点に都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業を行っています。

●武庫之荘では居宅介護支援事業（ケアプラン）も行っています。



# 第3回通常総会報告

6月27日(日)西宮市市民交流センターにおいて、特定非営利活動法人 都市生活コミュニティセンターの第3回通常総会を開催しました。正会員40名のうち実出席23名、委任状出席7名、オブザーバー11名の出席がありました。2003年度事業報告、2004年度事業計画(案)、役員選出について審議し全議案可決承認されました。



## 2004年度の事業計画

1. 阪神・淡路大震災からの生活復興支援に参加します。(ふれあい喫茶すまいる事業等)
2. 阪神・淡路大震災の復興過程から学んだことを活かして、日常に共にたすけあう地域づくりを進めます。(介護保険事業、ミニデイサービス事業、配食サービス事業等)
3. たすけあいの地域づくりの担い手を積極的に養成し、地域福祉の一層の充実を図るための研究を進めます。(ミュージックセラピスト養成事業、スキルアップ事業等)
4. NPO や地域コミュニティの発展のためにネットワーク団体や中間支援団体の活動に参加・協力します。
5. 内外で今後発生する自然災害等に対して、目的を同じくする他の団体・個人と連携して支援を行います。また、支援の連携のしくみづくりについて研究を進めます。
6. 阪神・淡路大震災の経験に基づいて自然災害の被災者・被災地に対して求められる社会制度の研究を進めます。
7. 子育て支援事業
8. 非営利活動団体・個人の情報発信力向上を支援する事業を一層発展させます。(ホームページ開設・運営等)
9. 情報提供(「News」の発行、講習会の開催等)
10. その他の事業



辞任のあいさつをする川淵理事  
(理事在任 2002年6月30日～2004年6月27日)

戸の震災後10年が経ちました。震災のとき全国各地の支援でできた復興支援活動の拠点であったTCCも、その活動が地域活動の拠点として変化しつつあります。この10年間でできた組織のネットワークを活用して、どのようNPOとして活動できるかが問われています。TCCの今後の活動の橋渡しができたらと思います。

## ●理事会メンバー

理事長 前川智佳子

理事 池田啓一

” 角田学 (生活協同組合都市生活)

” 川島三夫 (生活協同組合エスコープ大阪)

” 籠谷光枝 (生活協同組合都市生活)

” 木倉いつ子 (都市生活ヘルパーステーション あ・し・す・と)

” 佐々木京子 (都市生活ヘルパーステーション あしすと武庫之荘)

## ●監事

王隠堂政見 (農業生産法人有限会社王隠堂農園) 井上肇 (生活クラブやまがた生活協同組合)